

2010年5月15日

情報システム学会 新規研究会 設置申請書

研究会名：

「社会インフラの ICT 依存性とインシデント対応」研究会

研究テーマ：

社会インフラにおける ICT の導入状況と依存性の解析を進めながら、ICT 障害（インシデント）に対する潜在的な脆弱性を抽出すると同時に、実際に発生した障害事例の構造的原因の分析を行う。また、インシデント対応のあり方について官民連携の視点も加えながら、欧米で先行する取組みなども調査・参照し、日本における社会インフラの ICT 障害（インシデント）対応のあり方についての議論を展開する。

主査：

氏名 渡辺研司

所属 長岡技術科学大学 大学院技術経営研究科（4月より名古屋工業大学）

連絡先 〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1、電話（非公開）、

FAX0258-47-9350、メール watanabe kjs.nagaokaut.ac.jp（■は @ に変更してください）

幹事：

（最終調整中：日立製作所 織茂 昌之 様）

研究テーマ設置の背景：

社会インフラ（電気・通信・ガス・水道・運輸・金融・医療・政府・放送・小売・化学など）がその機能提供やサービスレベルの維持・向上に ICT を積極的に導入しているが、その一方で、ICT 障害（インシデント）によってサービスの機能不全や連鎖障害が発生するといった、社会インフラの脆弱性が露呈する事件・事故も散見されるようになった。本研究会では、このような問題意識をベースに、現在の社会インフラにおける ICT 導入状況とそれに伴う脆弱性、また、実際に発生した ICT 障害の構造的原因について調査・整理しながら、この分野で先行する欧米の官民連携の取組みも参照しつつ、今後の日本における社会インフラの ICT 障害（インシデント）対応のあり方についての知見の集約と、学会からの提言をとりまとめることを目的とする。

主たる活動場所：

東京、名古屋ほか

活動計画（概要）

- 1) 国内外における社会インフラの ICT 障害の構造的な原因分析

- 2) 社会インフラにおける ICT 導入状況と潜在的な脆弱性の抽出
- 3) 日本における社会インフラの ICT 障害（インシデント）対応のあり方に関する議論の展開
- 4) インシデントの情報蓄積環境の検討